

南区地域見守り隊(沖縄県嘉手納町)

(構成：自治会長を中心に民生委員や子ども育成会、青年会、老人クラブ、自治会評議員、社協役員等)

《活動主体の概要》

総人口： 1,390人

高齢者数： 319人

世帯数： 583世帯

産業構造： 南区は昔から嘉手納町内の商業が盛んな町であり、飲食店や市場など町の中心として賑わいを見せている地域であった。現在も区のメインストリートを中心に、飲食店が並んでいる盛んな地域である。

地理的構造： 町の中心に位置し、町役場や金融機関、大型スーパーなどが並ぶ便利な地域となっている。

福祉課題： 町内6行政区では一番小さな区ではあるが、生活保護世帯の割合(6行政区中2番目)、高齢化率も高い(6行政区中1番目)という福祉課題を多く抱える地域である。



活動のきっかけ

嘉手納町社会福祉協議会では、南区自治会へ働きかけ、平成25年12月に「南区地域見守り隊」が発足した。自治会長を中心に民生委員や子ども会、青年会、老人クラブ、自治会評議員、社協役員等18名が参加し、「みんなが安心して暮らしていける南区」を目指すこととなった。活動に係る財源として、沖縄県社会福祉協議会が実施する「小地域福祉活動活性化モデル事業」の助成金を活用した。

見守り活動の実施にあたっては、先進地域から実際の活動を学ぼうと、本島中部にある宜野湾市の伊佐区自治会で組織される「地域支え合い活動委員会」の活動を視察し、意見交換を行った。

また、視察後にワークショップ形式で視察研修の振り返りを行い、南区の「良い現状」と「気になる現状(課題)」について意見を出し合い、情報共有を行った。このような定例会議開催するにあたり、社協に取りまとめてもらい、2ヶ月に1回のペースで開催している。また、定例会の前月には役員会(隊長、副隊長、相談役、事務

局)を行い、定例会の内容を確認しながら見守り隊の活動をスタートさせていった。

活動方法

南区地域見守り隊では、区内にある民生委員の担当区域で3エリアに分割し、「ゆいまーる会」、「ロータリークラブ」、「絆の会」の3つのグループを作り、グループで見守り対象者を把握し、訪問や声掛けといったグループごとでの見守り活動を行っている。

また、実際にあった孤立死をきっかけに「これからの活動をどうしていくべきか」という隊員からの声に対し緊急時の対応等について協議しようと、南区を所轄するニライ消防署、嘉手納警察署の関係者を招いての意見交換会を実施した。

このほか、「見守り模擬訓練」を実施。これは、見守り活動の充実を図るとともに、見守り隊メンバーが安心して活動できるよう連携・協働の輪を広げることをテーマに開催された。具体的には、消防・警察の協力を得ながら、見守り対象者宅での異変を察知し、家で倒れている対象者を発見、

緊急通報、救急搬送するまでの一覧の流れを実際に訓練として実施した。

工夫点

見守り活動の開始にあたっては、社協事業の「かでな安心キット事業(緊急医療情報キット)」の設置されている対象者から見守りを必要とする方をマップで確認し、見守り隊のメンバーが実際対象者を把握したうえで、本人とお会いし、活動の趣旨を説明して、納得いただいたうえで見守り活動を行っている。また、見守り隊であることが分かるように名札を着用するなどの工夫を行っている。

また、見守り対象者の周囲の方への協力を求めるために、協力員の募集の呼びかけにも取り組んでいるところである。

さらに、南区の活動を模範に町内の他地域への普及を図るため、町社協が活動報告会を開催して、活動の成果を住民や福祉関係者等に知らせたり、町社協で小地域福祉活動のリーフレットを作成するなど広く町民に知らせる啓発活動にも取り組んでいる。

成果

見守り隊活動をする中で、今まで福祉の問題について話し合う場が無かったが、活動が出来たことで情報の共有を行う場をつくる事が出来た。また、南区地域見守り隊のスローガン『声かけ 見守り みんなの和』を隊員みんなで作くりスローガンをモットーに活動することで、民生委員や隊員の意識づけ、思いとして活動に繋がっている。

さらに、協力員として関わってくれる地域の方が参加してくれたり、実際に家で倒れている方への早期発見・早期対応への繋がりが活動の成果が見えてきている。

また、活動報告会の実施やマスコミを通しての関係機関にも活動が周知され、他の自治会にも活動が広まってきている。

課題

今後、南区地域見守り隊活動を取り組んでいくにあたり、まだ、地域の方に浸透していない状況にあたり、どのような活動なのかが分からない地域の方々もいると思われる。活動の周知活動と共に、今後活動していく中で、現在高齢の方を中心とした取り組みになっているが、今後は、子どもから障がいを持っている方、そして高齢者まで地域の方みんなが安心して暮らし、助け合える地域づくりに取り組めるよう、どのように広げ、どのように繋げていくかが課題となっている。また、見守り隊の取り組みが継続していけるような仕組みづくりも検討していく必要がある。南区に合った南区らしい取り組みを考えていけたらと考える。

代表者、事業者等の声

南区自治会長【南区地域見守り隊相談役】

近年の社会情勢の中で、高齢化世帯・核家族化に伴う夫婦共働き世帯の増加、個々の行動様式・価値観の変化等と自治会を取り巻く状況も年々変化している。このような中、地域の奇薄化を防ぐべく、「地域は地域で守る」「地域は地域で創る」時代、地域が発展していく喜びを皆で分かち合って創っていききたいと思う。「南区見守り隊」も結成から2年が経過し隊長を中心にいろいろな取り組みを行っている。区民の方々が南区に住んでよかったと思えるような地域になる様に努力していきたいと思う。

これは職員・役員だけでは出来る事ではない。地域に住まわれている一人一人の協力なくしては到底出来ないことだと思っている。「南区見守り隊」も現在20名で活動を行っているが、こういった活動は、無理のない息の長い活動が求められるので、今後、地域みなさんに協力をお願いしたいと考えている。